

# TAKEHARA ROTARY CLUB ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710 WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報

会長 鴨宮 弘宜 副 S A A 西岡 一道  
 会長エレクト 板場 英行 直前会長 菅 義尚  
 副会長 宮本 和彦 管理運営 尾野 剛章  
 幹事 井上 盛文 会員組織 三好 静子  
 副幹事 木村 安伸 奉仕 宮本 和彦  
 会計 田中 幸俊 広報 久藤 孝仁  
 S A A 山根 積 R財団米山 大成 義彦

事務局/〒725-0026竹原市中央4丁目8-2第1おおぎビル102号  
 TEL/0846-22-7570 FAX/0846-22-7651  
 E-mail/rc-take@estate.ocn.ne.jp  
 http://www.takehara-rc.com  
 例会日/毎週木曜日12:30~13:30



本日のプログラム 10月5日	次週のプログラム 10月12日
誕生祝・各会員各記念日祝 誕生月該当者会員卓話	親睦活動委員会・会員増強委員会担当例会

## 【 2017年 9月28日 第2584回 例会記録 】

- 点 鐘
- 会員数：32名（免除者：3名）
- 出席者：28名  欠席者：2名
- メイク：2名  出席率：96.77%

### 各会員各記念日（10月）

- 会員誕生日 夜船 正昭
- 結婚記念日 市川 重雄 堀越 賢二  
三好 静子 西岡 一道
- 配偶者誕生日 金澤 節生
- 事業所創立 大森 寛 市川 重雄

### 幹事報告 副幹事 木村 安伸



- ・ロータリーレート  
10月より1\$112円  
(現行109円)
- ・クールビズ期間は9月で終了  
です。10月より上着ネクタイ  
着用をお願いします。

### 会長の時間 会長 鴨宮 弘宜



本日は職場例会となっております。市川委員長、担当委員会様準備等ご苦労様でした。有難うございます。栽培漁業センターでの職場例会、楽しみにさせて頂いております。さて、井上幹事がお忙しくなるということで、欠席されることがあります。その時には、副幹事の木村会員に幹事代行をお願い致します。

本日は時間もありませんので、速やかに食事を済ませて頂きまして移動の方宜しくお願い致します。以上で本日の会長の時間と致します。

### 職場例会

大広苑に於いて例会・食事を済ませて、13時から広島県栽培漁業センター（竹原市高崎町大乘）に於いて職場訪問させて頂きました。栽培漁業センターの仕組み、事業の概要、種苗生産計画等について詳しい説明を聞かせて頂き、その後施設内を見学させて頂きました。



一般社団法人  
 広島県栽培漁業協会  
 業務推進部長 山根康幸 様  
 ●栽培漁業センター設置のねらい  
 古くから豊かな海の恵みを受けてきたが、藻場や干潟が少なくなって稚魚も育ちにくくなり、放流しなければ漁獲を維持拡大できない水産生物が増えている。広島県は、豊かで実りのある海を取り戻すため、1982年に放流用稚魚の大量生産供給施設として栽培漁業センターを整備し、新しい時代を担う栽培漁業の推進拠点が誕生しました。

### ●事業の概要

平成25年4月1日に一般社団法人広島県栽培漁業基本計画に沿って、漁業者と調整・検討した種苗生産、放流計画に基づき、マダイ、メバル、オニオコゼ、ガザミ、ヨシエビ、カキ、アユ、カサゴの8魚介類の種苗生産を行っています。（ヒラメは外部委

託生産) これらの種苗斡旋と負担金の取りまとめに当たっては、公益財団法人広島県漁業振興基金がマダイ、メバル、オニオコゼ、ガザミ、ヨシエビ、カサゴの6魚種を広島県漁業協同組合連合会がカキを、広島県内水面漁業協同組合連合会がアユをそれぞれ窓口として行っています。メバルは豊竹東水産振興協議会の委託により種苗生産を行っています。

さらに栽培漁業に関する技術交流、情報交換、指導啓発などを行うことにより栽培漁業の定着と発展を目指しています。キジハタは尾道市外、関係団体からの委託と公益財団法人広島県漁業振興基金の助成を受けて量産化試験生産事業として実施しています。

●栽培漁業…卵から稚魚になるまでの一番弱い期間を人間が手をかけて守り育て、無事に外敵から身を守ることができるようになったら、その魚介類が成長するのに適した海に放流し、自然の海で成長したものを漁獲することです。

●養殖…出荷サイズになるまでを水槽やいけすで育てます。即ち、魚の子供の頃から大人になるまで、人の管理下で育てられています。

一番大きな違いは、栽培漁業では魚を海に放流しますが、養殖漁業は魚を水槽などで育て、放流はしないということです。

●種苗生産…おいしい魚や貝をたくさんふやすために、魚や貝の子供を他の生き物に食べられにくくなる大きさまで育てて海にはなします。これを放流といい、大きく育ててから漁獲します。生け簀や籠などの中で魚や貝の子供を育てて、大きくしてから収穫します。これを養殖といいます。放流や養殖をするための、魚や貝の子供を作ることを種苗生産といいます。

●種苗生産計画 (今の季節は、キジハタとオニオコゼを生産中です)

魚種	大きさ	生産数量
カキ 付着稚貝 一粒カキ	330 $\mu$ m コレクター 10mm	150万枚 80万個
メバル	25mm	32万尾
カサゴ	25mm	20.5万尾
キジハタ	60mm	5.1万尾
マダイ	12mm	128万尾
ガザミ	10mm	159.4万尾
ヨシエビ	12mm 25mm	66万尾 25.5万尾
オニオコゼ	25mm	29.9万尾
アユ	0.5g	230万尾

